

瀨川秀雄 （此名は） 國史學者、文學博士。明治六年八月（二十）一日山口縣生  
 れ（一八七三）。明治二十九年帝國大學文科大學史學科卒。學習院教授  
 としつり六池、陸軍大學、廣島文理科大学、東京文理科大学に出席。も  
 六岩國史古館館長、岩國市史編纂所所長を務めた。一方妻久可子（舊  
 姓井上、明治十二年一月東京生れ昭和二十九年歿）と共に短歌を能く  
 し、合同歌集『錦の流』（昭和二十七年）二月（二十五日）神奈川・月刊  
 『心の葦叢書』（）を刊行。

著書に、『關ヶ原役を中心とせる吉川廣家公伝』（大正十五年十月六日、  
 無刊記）、『山中鹿之介の末路』（昭和二年二月二十日岡山・山中公  
 遺跡保存後援會）、『吉川元春元長兩公二百五十年祭記念講演集』（栗  
 田元次合著、昭和十一年六月（二十）日井原豐編刊）、『吉川朝經公七  
 百年祭記念講演集』（井原豐・栗栖勉夫合著、昭和十六年十一月（二十）  
 五日于齋吉川家編纂所）、『吉川元春』（昭和十九年九月十八日合資  
 會社富山房、株式會社富山房創設事務所）等。

